

特集

東大生 松倉活性化に5策

昨年度に実施された、東京大の学生が松倉地区の活性化策を探る「フィールドスタディ型政策協働プログラム」の政策提案がまとまりましたので特集でお知らせします。

この事業は、東京大が全国の自治体とタイアップし、学生が一年をかけて各地域の課題解決の道筋を探り、地域に提案するものです。

今回、松倉地区を訪問した東大生は、男子2名（森山日天、溝口慶）、女子3名（加藤小百合、鳥居希実、山崎美怜）の計5名です。課題「松倉城跡を中心とした里山の暮らしと地域の再興」の解決策を考えるため、松倉地区を訪問して様々な体験や調査を行いました。



1 回目の訪問は、令和 6 年 8 月 17 日（土）～ 20 日（火）。松倉城や北山城の散策、金山坑道探検や草刈り等の体験を通して、まずは地域を見てもらい、そこに暮らす人々との交流を図りました。

2 回目、11 月 2 日（土）～ 4 日（月）。「松倉ほのぼの文化祭」で中間報告を行いました。また、松倉地区の強みと弱みを SWOT 分析してパネル展示をしました。

3 回目は、令和 7 年 3 月 8 日（土）、9 日（月）。地元で報告会を開催しました。8 日は松倉コミュニティセンターにて村椿魚津市長、田中富山県地方創生局長、津田東京大学副学長ら（東大より 3 名が視察）を迎え、地元住民を対象に報

告しました。また、9 日は新川文化ホールにて行われた「魚津市まちづくりフォーラム」で特別報告しました。両日の報告会では、学生らは 3 回（延べ 9 日間）の松倉訪問と、6 回のオンライン会議を踏まえ、次の 5 策を提案しました。（詳細は裏面に掲載）

- ① 松倉城を学校の遠足先
- ② コミュニティセンターの活用
- ③ ご当地アイスの開発
- ④ 獣害ハンターへの誘い
- ⑤ 空き家の企業への貸し出し

各政策は、独立していますが、相互に補完しあう松倉活性化策になっています。

なお、8 日は報告会後、5 班に分かれてブラッシュアップを目的に意見交換しました。参加者からは、「具体的に実現可能性がある」「さらに

〇〇の情報を調べて政策の裏付けにする」とよい」等のアドバイスをもらいました。

松倉自治振興会は、これらの政策提案を受け、実現に向けて検討を進めていきます。東京大学の 5 名のみならず、一年間どうもありがとうございました。



松倉城散策

6 月 8 日（日）、続・戦国の風を感じようを合言葉に「静かなる石垣とお堀、語り継ぐ松倉城の鼓動、支城群に秘められた戦国の追憶」を求めて、松倉城と北山城そして旧坪野鉾泉跡地を約 20 名程度で散策して来ました。松倉コミュニティセンターから松倉城本丸まで車で移動、本丸のろし台から獄門ヶ原へ入場の門広場は徒歩で散策、北山城まで車移動後散策、旧坪野鉾泉跡地へ車で移動、その後松倉コミュニティセンターに戻りました。散策終了後、松倉コミュニティセンターで学芸員の的場茂晃氏より「松倉城と支城群について」基調講演を頂きました。講演会では、今の坪野城の様子を先日、撮影した写真と共に見ました。

松倉城本丸とろし台は、昨年末に雑木を伐採したので感動的な眺めになりました。また、旧坪野鉾泉跡地は綺麗に整地されていました。次回は坪野城も散策したいと思いました。

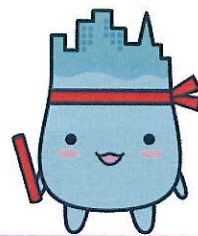
参加者は、今回の散策と講演でより知識が深まったと思います。今回参加されなかった方は、次回もこのような散策と講演があれば、ぜひ参加してみたいかがでしょうか。



富山県魚津市 松倉地区

メンバー

加藤 小百合
森山 日天
鳥居 希実
山崎 美伶
溝口 慶



2025. 3. 17

「魚津市松倉地区」について

- ・ 魚津市（富山県東部）の山あいの地区
- ・ 越中最大の山城「松倉城」がある
- ・ 松倉金山もあり、栄えていた
- ・ 刀踊り・獅子舞などの伝統文化が残る
- ・ 豊かな自然環境の中で、様々な農作物の栽培がおこなわれている
- ・ 松倉城の国史跡指定を目指す一方で、地区では
獣害・空き家・人口減など様々な課題も…



テーマ

メインテーマ：

「松倉城跡を核とした地域の活性化」

松倉地区の地域資源の中核に据えられている松倉城跡を中心として、地域活性化を目指す

サブテーマ：

「空き家の活用」

空き家の利活用・古民家再生を視野に入れた提案

現地活動

第1回

- ・ 松倉城址と金山坑道の見学
- ・ 伝統文化の学習
- ・ 各集落の散策
- ・ 地元の方との交流
- ・ 地区の魅力を学ぶ（ヤギの杜、藍染めなど）



第2回

- ・ 文化祭にて提案
 - ・ 山菜など地域の食文化の学習
 - ・ 松倉城址のより詳細な見学
- ⇒ 第一回の疑問の解消&最終提案に向けた準備



提案に向けて

SWOT分析

現地活動でもって私達が考えた強みと弱みをクロス分析。提案練りに活かす。

強み

松倉城・金山
棚田の風景
地域のつながり

弱み

人口減
微妙な観光資源
少ない金を落とす場所

提案内容

①魚津城址遠足

背景：実際のところ、魚津の人たちだってお城を誇りに思っているのか？

目的：松倉城を自分事と捉える市民増

内容：学校の遠足先に松倉城を組み込む
総合科目の授業内で取り上げる

- ・ 子供達の楽しい記憶にするための工夫
- ・ 魚津の人にこそ誇りに思ってもらいたい（しかも史跡登録が期待されている）
- ・ 子供達の当事者意識を培い、地域で城を維持するのを目指す
- ・ コミュニティセンターとの連携



②コミュニティセンターの活用

背景：コミュニティセンターの建替え予定
松倉城跡の資源としての分かりにくさ

目的：コミュニティセンターを松倉城跡の関連施設として活用する

- 内容：コミュニティセンターにおいて、
- ・ パンフレットや展示の作成
 - ・ 体験設備の設置（コスプレ・スタンプ等）
 - ・ フォトスポットの設置

以上の内容をコミュニティセンター建替え計画の一環として提案する

③ご当地アイスの開発

背景：山の「食」の魅力が伝わっていない、お金を落とす場所が少ない

目的：魚津市松倉地区ならではのアイスを開発し、地区の食の魅力を伝える・お金を落とすものを生み出す

内容：現在魚津市松倉地区の近くにあるアイス販売会社と提携してご当地アイスを作る（よもぎ、フェイジョアなど）。松倉地区や近くの地区で販売し収入の一部とする。住民にとっても食の魅力を知るきっかけとなる。

④獣害ハンターへの誘い

背景：獣害の被害が深刻だが、対策の担い手不足に直面

目的：狩猟や農業など中山間地域の暮らしに興味を持つ人々を獣害ハンターとして巻き込むことで、地域内だけで解決できない獣害被害に対策する

内容：狩猟サークルや民間コミュニティに活動拠点の1つとして松倉地区を提供する提案を行う

⑤空き家の企業への貸し出し

背景：空き家の増加、維持管理費用の問題

目的：空き家の維持管理にかかる費用を補填できる程度のカネを空き家から生む。また、空き家活用を通して、地域と地域の企業や人のつながりのきっかけを創る。

内容：新興企業・中小企業など、保養所を持っていない企業が使える保養所あるいはサテライトオフィスとして、空き家のサブスクリプションサービスを行う。